

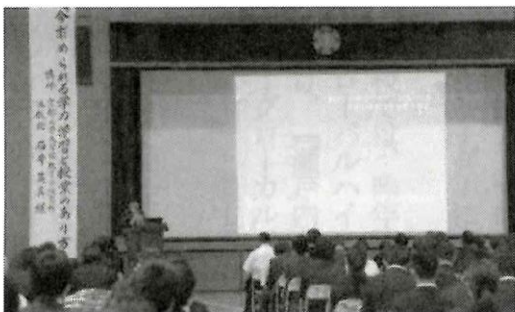
新潟大附属新潟中学校が教育研究発表会

「思考の広がり深まりの中で、
『学ぶ喜び』を実感・納得していく授業」

新潟大学教育学部附属新潟中学校は去る10月21日に、平成28年度「教育研究発表会」を開催した。真Ⅱ。全国から教育関係者530名が集った。

研究主題は「思考の広がり深まりの中で、『学ぶ喜び』を実感・納得していく授業」(四年次)。同校では、国立教育政策研究所の教育課程研究指定を受け、思考に着目した研究を行ってきた。『学ぶ喜び』を実感・納得するなかで、生徒が自分にとって意味あるものと価値付けた個々の思考操作、学習方略、情意・態度などを『思考のすべ』と定義し、『思考のすべ』の育成から、教科・領域等を横断して汎用的に用いる「資質・能力」の育成を図ることを重点としてきた。

教育研究発表会では、全教科・領域で授業公開を行った。思考をより促すアクティブ・ラーニングの具体として、「意味ある文脈での課題設定」「対話を促す工夫」「メタ認知を促す工夫」を三つの重点から、授業を構想した。



また、京都大学の石井英真氏による講演「今求められる学力・学習と授業の在り方」では、次期学習指導要領のポイントを「学力観」「授業観」「評価観」「学校経営」の視点から詳しく解説された。

さらに同校の取組から、教師と生徒との信頼関係、中学校として教科の専門性から深い学びを重視している点、教科を横断する視点から総合的な学習の時間を位置づけている点などを成果として取り上げ、次期学習指導要領が求める学校像の具体として説明した。

研究に関する問い合わせは、同校(電話025122318341 FAX 025122318351 eメール:fucyju@jhs.niigata.ed.niigata-u.ac.jp)まで。

